第六号書式中

保険金等受取人	住所又は居所		氏名又は名
			個人番号又は法人番
保険契約者等（又は保険料等払込人）			氏名又は名
			個人番号又は法人番
被保険者等			氏名又は名

を

称		保険金等受取人	氏名又
号			個人番号又
称		保険契約者等（又は保険料等払込人）	氏名又
号			個人番号又
称		被保険者等	氏名又
		直前の保険契約者等	

住所（居所）又は所在地

を

は名称	
は法人番号	
は名称	
は法人番号	
は名称	

に、

既払込保険料等
円

を

既払込
（内

保険料等		保険事故等	
円		保険等の種類	
）			

に、

保険事故等の発生年月日	年　月
保険金等の支払年月日	年　月

日	保険事故等		保険事故等の発生年月日
日	保険等の種類		
	契約者変更の回数		保険金等の支払年月日

を

年　月　日
年　月　日

に改め、同号書式備考四中「記載すること」を「記載し、六の契約者の変更に関する事項は、保険料払込人又は共済掛金払込人の変更について記載すること」に改め、同号書式備考七を同号書式備考八とし、同号書式備考六を同号書式備考七とし、同号書式備考五の次に次のように加える。

六　契約者の変更（死亡に伴い行われるものを除く。１及び３において同じ。）があつた場合の記載の要領は、次による。

１　直前の保険契約者等欄に、当該契約者の変更（当該契約に係る契約者の変更が２回以上行われた場合には、最後の契約者の変更）前の契約者の氏名又は名称及び住所若しくは居所又は本店若しくは主たる事務所の所在地を記載すること。

２　既払込保険料等欄の内書に、当該契約に係る現契約者が払い込んだ保険料又は共済掛金の額を記載すること。

３　契約者変更の回数欄に、当該契約に係る契約者の変更が行われた回数を記載すること。

第六号書式備考に次のように加える。

九　合計表をこの様式に準じて作成し添付すること。

第八号書式備考四１中「第59条第２項第１号」を「第59条第３項第１号」に改め、同号書式備考四２中「第59条第２項第２号」を「第59条第３項第２号」に改め、同号書式備考四３中「第59条第２項第３号」を「第59条第３項第３号」に改め、同号書式備考四４中「第59条第２項第４号」を「第59条第３項第４号」に改め、同号書式備考に次のように加える。

七　合計表をこの様式に準じて作成し添付すること。

第八号書式を第九号書式とし、第七号書式の次に次の書式を加える。

第八号書式

保険契約者等の異動に関する調書

○	新保険契約者等	住所（居所）又は所在地	氏名又は名称	
	死亡した保険契約者等			
	被保険者等			

解約返戻金相当額	既払込保険料等の総額	死亡した保険契約者等の払込保険料等
円	円	円

○	評価日	1　保険契約者等の死亡日 2　契約者変更の効力発生日	保険契約者等の死亡日	年　月　日
	保険等の種類		契約者変更の効力発生日	年　月　日

（摘要）

（　年　月　日提出）

保険会社等	所在地			
	名称		法人番号	

（用紙　日本工業規格Ａ６）

備考

一　新保険契約者等の欄には、生命保険契約又は損害保険契約（共済契約を含む。）の契約者の死亡に伴う当該契約の契約者の変更（以下「契約者変更」という。）の手続をした場合における当該契約者変更後の契約者の氏名又は名称及び住所若しくは居所又は所在地を記載すること。

二　死亡した保険契約者等の欄には、契約者変更前の契約者の氏名及び住所又は居所を記載すること。

三　解約返戻金相当額の欄には、二の契約者の死亡日又は契約者変更の効力発生日のいずれかの日（以下「評価日」という。）において当該契約を解約するとしたならば支払われるべき解約返戻金の金額を記載すること。

四　評価日の欄には、三の解約返戻金相当額に係る評価日に対応する番号を○で囲むこと。

五　保険会社等の法人番号欄には、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第２条第15項に規定する法人番号を記載すること。

六　合計表をこの様式に準じて作成し添付すること。